

心のメッセージ

“成長”を見てもらう場に。

今週の金曜日に迫った「陸上競技大会」コロナウイルス蔓延の影響で、様々な活動が“自粛”となり、多くの学校行事はできなかつたり、この陸上競技大会のように規模縮小という形での実施を余儀なくされたりしている。このどうしようもない環境に対して、不平・不満を並べてもなにも解決できないから、今ある環境で“全力で頑張るきみたち”の姿を見たいなと思う。

先日、2年生の陸上競技大会に向けた学年練習があった。私はこの学年を入学した時からみている。全体的に落ち着きがなく、授業中や学年集会で叱られることもあった。そんな学年の学年練習。前日から私は不安でいっぱいだったが、いざ練習が始まると、5時間目の予鈴で整列完了できているクラスがある。入退場の練習でもただ歩いたり、ふざけて全体の進行を大きく妨げるようなこともない。学年種目の台風の目では、競技者は全力で走り、仲間は全力で応援する。最後の仲間が帰ってきたら自然と拍手が起こる。中学校生活の半分を過ぎようとする彼らがとても“成長”した姿を見させてもらい、まだ本番を迎えたわけではないが、とても嬉しく、少し感動さえ覚えた。

私は先生になってまだ5年目だが、“きみたちが成長した姿が見れた”ときに、この仕事のやりがいを感じるし、もったきみたちといい時間を過ごしていきたいと思う。それは他の先生方も同じだと思う。保護者の方は、きみたちの成長した姿を見られたら心から感動するんじゃないかな。

緊急事態宣言が明け、自粛しながらも開催できる陸上競技大会。開会式の入場から閉会式の退場まで、「一生懸命・全力」で頑張ってもらいたい。先生たち、保護者の方、そして自分たち同士が、“成長”した姿をたくさん見られる陸上競技大会にしてほしい。陸上競技大会にかかわるすべての人が“やってよかったな”と思えるものになることを期待している。

_____年 _____組 _____番 名前_____